

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/01/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587008501	科目番号 / Subject code	05870085
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 11921_005		
授業科目名 / Subject	病気と薬を考える (薬との賢い付き合い方) / How to Wisely Get Along with Medicines		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	塚原 完 / Tsukahara Tamotsu, 植田 弘師 / Ueda Hiroshi, 田中 隆 / Tanaka Takashi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	塚原 完 / Tsukahara Tamotsu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	塚原 完 / Tsukahara Tamotsu, 植田 弘師 / Ueda Hiroshi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Target students	2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ttamotsu nagasaki-u.ac.jp (塚原 完) (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	薬学部4階 創薬薬理学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2473 (主) 095-819-2473		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問などはメール、電話で受け付けます。 面談の場合もメールまたは電話で日時を調整します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	薬の効くしくみや体内での動きを理解すること、また、医薬品の影の部分(副作用)を知ることは、一消費者として薬と賢くつきあうためばかりでなく、生体の機能を知り、生命現象の理解を深めることにもつながる。この授業では、幾つかの薬を例に取り、薬と賢く付き合うために、生命科学分野以外にも医薬経済学(ファーマコエコノミクス)といった、社会科学的、人文科学的分野についても学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	1. 能動的な学修ができるようになる (A, B, C)。 2. プレゼンテーション能力が改善できるようになる (D, E, G)。 3. 自己表現方法が改善できるようになる (B, D, E)。 4. 情報を集め、議論してまとめることができるようになる(D, G, I)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業中の課題への積極的な取組姿勢、プレゼンテーション (60%) レポート、LACSによる演習 (40%) (スライド資料、レポートでのコピペ、剽窃、引用などの不適切行為は厳しく対応します)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前: 授業前の十分な予習、調査、整理 事後: コミュニケーション能力、プレゼンテーション、グループワーク、社会人基礎力を身につける。		
キーワード/Key word	くすりの作用、くすりの歴史、ヒト、生命、医療		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜、参考書を使用するが、予め学生側で用意する必要はない。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	授業外の時間に調査、情報整理、レポート、発表用スライド等作成のための資料の準備などを充てること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks(URL)	http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/lab/soyakuri/index-j.html	
学生へのメッセージ/Message for students	本授業はスモールグループディスカッション(SGD)を取り入れます。積極的に課題に取り組み、グループ内でのコミュニケーションをとることに努めて下さい。十分な調査・予習を行い、予備知識をつけてから授業に臨み、自分の意見を述べるができるようになることが大切です。PC必須です。長大ネットに接続できるようにセットアップしてから持参して下さい。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回 (11/27)	導入講義 (前期)	F
第2回 (11/27)	グループ分け(5人/班とする) 計8班の予定 SGDの課題提示	F
第3回 (12/6)	グループワーク (調査結果報告) 各班ごとに決めたテーマについて発表する。	A B C D
第4回 (12/6)	グループワーク (整理、討議、まとめ、プレゼン用スライド作成)	A B C D
第5回 (12/13)	プレゼンテーションの実施 (班1?4) 自己および相互評価シートの作成 自由記述文シートの作成 (テキストマイニングによるキーワード解析など)	A B C D
第6回 (12/13)	プレゼンテーションの実施 (班5?8) 自己および相互評価シートの作成 自由記述文シートの作成 (テキストマイニングによるキーワード解析など)	A B C D
第7回 (12/20)	前期発表における自己・他者評価についてまとめ、問題点、改善点について各自明らかにし、前期課題の改善に向けたレポートを作成。	A B C D
第8回 (12/20)	各自、前期課題の改善に向けたレポートを発表する。	A B C D
第9回 (1/10)	導入講義 (後期)	F
第10回 (1/10)	グループ分け SGDの課題提示	F
第11回 (1/17)	グループワーク (調査結果報告)	A B C D
第12回 (1/17)	グループワーク (整理、討議、まとめ、スライド作成)	A B C D
第13回 (1/24)	プレゼンテーションの実施 (1?4班) 自己および相互評価シートの作成 自由記述文シートの作成 (テキストマイニング)	A B C D
第14回 (1/24)	プレゼンテーションの実施 (5?8班) 自己および相互評価シートの作成 自由記述文シートの作成 (テキストマイニング)	A B C D
第15回 (1/31)	前期発表と後期発表における自己・他者評価についてまとめる。自分が今回の授業で学んだ点、成長できたことをまとめ報告する。最後にレポートを作成して提出する。	A B C D

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587009301	科目番号 / Subject code	05870093
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 11941_005		
授業科目名 / Subject	病気と薬を考える (疾病と薬物治療) / Diseases and Drug Therapy		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	北里 海雄 / Kitazato Kaio, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 春山 貴弘 / Haruyama Takahiro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	北里 海雄 / Kitazato Kaio		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	北里 海雄 / Kitazato Kaio, 春山 貴弘 / Haruyama Takahiro		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Target students	1・2・3・4年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kkholi@nagasaki-u.ac.jp, tharuyam@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	薬学部本館2階 感染分子薬学研究室 (文教キャンパス)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2457		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月・金 17:00以後、ただし事前にメール等で予約を取ること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	感染性疾患や消化・循環器疾患等の病気について調べ、その病態の概念や治療法(薬物療法を含む)について学ぶ。さらに、日常生活習慣と疾病との関連性や生活習慣の改善法について考える。		
授業到達目標/Course goals	様々な疾病の原因や病態、その治療法について概要を理解できる。 興味のある課題を自分でみつけることができる。 必要な情報を適切に収集して分析することができる。 自分の意見を積極的に表現することができる。 思考法について理解し実践することができる。 ディベートについて理解し実践することができる。 他者との意見交換を建設的に行うことができる。 調べたものをまとめて、皆の前でプレゼンテーションし、質問応答できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 問題を出して、考えさせてから、それぞれの学生に解答を求める。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業参加度30点、授業への取組み 30点、プレゼンテーション課題 40点の計100満点中60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	課題があるので、その都度必ず予習・復習して授業へ参加すること。		
キーワード / Key word	疾病、薬物治療、思考法、生活習慣、ディベート		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book			
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	6回以上の欠席は失格とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	課題があるので、その都度必ず予習・復習して授業へ参加すること。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
10月4日木3	オリエンテーション(成績評価の説明、アイスブレイキング)と種々の思考法を知る(北里)
10月4日木4	教育の手法とKJ法を知り、学んだ結果を発表する(北里)
10月11日木3	感染症を初めとする病気と薬について概説し、薬物治療の基礎を知る(北里)
10月11日木4	様々な疾病に対する薬物治療の基礎を知る(北里)
10月18日木3	ある疾病の原因・診断・病態・治療について個人学習を行う(北里)
10月18日木4	ある疾病の原因・診断・病態・治療についてグループ学習を行う(北里)
10月25日木3	ある疾病の原因・診断・病態・治療についてグループでまとめの準備を行う(北里)
10月25日木4	ある疾病の原因・診断・病態・治療についてグループでプロダクトを作成する(北里)
11月1日木3	中間発表を行い、ディベートを実践する(北里・春山)
11月1日木4	ある疾病の原因・診断・病態・治療について個人学習を行う(春山)
11月8日木3	ある疾病の原因・診断・病態・治療についてグループ学習を行う(春山)
11月8日木4	ある疾病の原因・診断・病態・治療についてグループでまとめの準備を行う(春山)
11月15日木3	ある疾病の原因・診断・病態・治療についてグループでプロダクトを作成する(春山)
11月15日木4	最終発表を行い、ディベートを実践する(北里・春山)
11月22日木3	課題についてレポートを作成し、授業の総括を行う(北里)

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/05/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587049301	科目番号 / Subject code	05870493
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 15301_005		
授業科目名 / Subject	病気と薬を考える (薬草・健康食品と病気)COC+ / Medicinal Plants, Health Food, and Disease		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田中 隆 / Tanaka Takashi, 山田 耕史 / Yamada Koji, 齋藤 義紀 / Saito Yoshinori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	田中 隆 / Tanaka Takashi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	田中 隆 / Tanaka Takashi, 山田 耕史 / Yamada Koji, 齋藤 義紀 / Saito Yoshinori		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	田中 隆 (t-tanaka nagasaki-u.ac.jp) / 山田耕史 (kyamada nagasaki-u.ac.jp) / 齋藤義紀 (saiyoshi nagasaki-u.ac.jp) (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	薬学部・天然物化学研究室 (田中 隆、齋藤義紀)、薬用植物園 (山田耕史)		
担当教員TEL/Tel	天然物化学 : 819-2432, 2433、薬用植物園 : 819-2462		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問などには電子メールにて対応		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	植物は身を守るために化学物質を作り、人間はそれらを薬として利用してきた。そのような物質には癌の治療薬や保健機能食品として利用されるものがある一方で、中毒を引き起こして社会をさわがせる物質もある。この科目では、実験や観察を交えながら、生物が作る物質の機能とその産業的利用法について知識を習得する。さらに長崎県の地域特産物を利用した産業振興の実例や課題を参考にしつつ、これからの長崎の地域振興について考え、自分がどのように貢献できるか考える。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な薬用植物や食用植物の効能や機能について説明できる (ガイドブック目標?B、?I)。 ・身近な植物を観察し、植物を見分けるポイントを身につける (?@, ?J, ?I)。 ・植物由来の薬や毒について説明できる (?B)。 ・長崎県の様々な資源について知り、長崎の地域振興策を提案できる (?F・DP地域, COC+)。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents of the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業や植物観察への積極的な参加、グループワークでの貢献度、小テスト、プレゼンテーション、レポートなどで評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	少人数グループワークでは、分担したテーマについて様々な方法で事前に情報収集し、取捨選択してパワーポイントファイルに取りまとめ、人に説明できるように準備する。授業での討論後には意見を参考にプレゼン内容をブラッシュアップして説得力のあるものにする。		
キーワード / Key word	薬草、健康食品、植物、動物、薬、毒、食品、地域特産物、産業利用、長崎県、地域振興		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は特に指定しない。必要に応じてプリントなどを配布する。様々な植物図鑑などが出版されており植物観察で利用できる。また、インターネットでも検索することができる。薬用植物・毒草・機能生息品についても多くの書籍が出版されており、参考にしてほしい。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	なし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	天然物化学 : http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/lab/natpro/index-j.html 薬用植物園 : http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/lab/plant/doc/plant%20garden/mainpage1.html		

学生へのメッセージ/Message for students	身近にある植物が、昔の人々によって選ばれて利用されてきているものであることを知り、選ばれた理由を科学的に説明できるようになることで、薬、食品、身近な自然、農林業についての見方が変わります。その知識は新たな利用法へとつながり、地域振興にも役立ちます。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	1. 薬草・健康食品とは何か。ヒトはどのように利用してきたか(導入講義) 2. 雑草観察・植物成分を見る方法(実験)(1, 2回の講義は天候次第で変更あり)
第2回	1. 健康食品開発の実例(講義と問題提示) 2. 長崎の植物資源を利用した地域おこしの提案 3. 新しい長崎地域振興の企画(グループワーク・役割分担・情報収集)
第3回	1. 補足講義: 想定される問題点について(講義) 2. 新しい長崎地域振興の企画・発案(グループワーク・プレゼン作成)
第4回	新しい長崎地域振興の企画・発案(グループワークとプレゼン取りまとめ) プレゼンテーションと相互評価
第5回	長崎での機能性食品開発の事例紹介と今後の課題(講義)
第6回	機能から見る薬, 食品, 毒の関係。くすりと毒のリスクに関するSGD-1: テーマの設定, グループ分け
第7回	におい連想ゲーム。くすりと毒のリスクに関するSGD-2: 調査経過報告と討議
第8回	歴史の中の薬草・毒草。くすりと毒のリスクに関するSGD-3: 調査経過報告と討議
第9回	くすりと毒のリスクに関するSGD-4: プレゼンテーション
第10回	薬草で味覚が変わる!? くすりと毒のリスクに関するSGD-5: プレゼンテーションのフィードバック
第11回	薬用植物の分類。健康に役立つ薬用植物の観察方法
第12回	薬用植物の分類。暮らしの中で役立つ植物の観察方法
第13回	薬用植物園における植物観察。薬用部位の観察と採集
第14回	薬用植物の調査研究: 利用目的別の分類
第15回	薬用植物の調査研究に関するSGD: 調査研究発表とフィードバック